

校名：大阪教育大学附属特別支援学校

所在地：〒547-0027 大阪市平野区喜連4-8-71 電話番号：06-6708-2580

記載日：平成28年5月13日 記載者：長江 京子 記載者役職：主幹教諭兼副校長事務取扱



本校の概要

大阪教育大学附属特別支援学校の門をくぐると、左側の壁面に沿って色とりどりの花々が咲き乱れています。これらの花々は、緑化ボランティアの保護者の方々が丹精込めて育てて下さいました。毎朝可愛い可憐な花々が私たちを出迎えてくれ、心が和やかになります。また、玄関中央部には昨年度創立50周年を記念し、植樹をした「はなみつき」が、本校の55名の児童生徒と共に、日に日に大きく、力強く成長している姿が見られます。



本校は大阪府のほぼ中央、平野区の地下鉄「喜連瓜破」の駅から徒歩4分の場所に位置しています。知的障害のある児童生徒が在籍している学校です。小学部16名、中学部17名、高等部22名の小さな学校ですが、「主体的に社会に関わる力」を育む授業づくりに取り組み、学ぶ楽しさを知り、学習意欲を高め、表現力を付けて自信を持てるように一人ひとりを大切にする教育を行っています。



敷地内に『日常生活訓練棟』があります。小学部3年から高等部3年までの全員が5～6月に宿泊学習に組み、その後、学部毎に林間学舎や臨海体験学舎、修学旅行などに臨みます。校外学習やふようまつり、持久走などたくさんの行事を経験しながら、集団生活や社会生活に必要な力を育てています。



また、PTA主催やご協力いただく行事もたくさんあります。ミニ運動会や夏休みに行くタベのつどい、地域の方も楽しみにして頂いているふようバザー等です。これらの行事では、子ども達が作成した物品を販売したり、一生懸命考えて準備したサービスを提供したりと、子ども達はとても生き生きと「お店屋さん」を楽しんでいます。また、保護者も進路研修会や社会見学など、活発に計画を立てて、楽しく勉強をされています。



最後に、本校は安心・安全な環境づくりに力を入れています。防犯・防災・地震（河川の氾濫）の避難訓練を教員で、また子ども達と共に、そして管理職不在を想定した訓練の実施も取り組んでいます。



本校の卒業生の活躍状況

- ① 5年以内の卒業生のいる進路先に追跡調査をしています。5月に現状調査書というアンケートを送付し、卒業生の状況を把握しています。事業所用と企業用を作成しています。本校は卒業生の会である「ハッピー会」卒業生の保護者の会である「芙蓉会」をほぼ1ヶ月に一回開催し、イベントなどを楽しみに集まる機会を持っています。そのような場面でも卒業生や保護者との会話から状況を把握し、必要な場合は進路担当につなぎ、支援するようにしています。
- ② 卒業生の活躍は学校が把握しています。①で答えた他に夏期休業中に進路開拓を2週間設定しています。アフターケアと現場実習機会確保のためにも進路部初め全教員で取り組んでいます。
- ③ 本校は高等部各学年1クラスで定員は8名です。進路先は生活介護、生活訓練、就労移行支援、就労継続支援A型、B型、企業就労とそれぞれの進路希望に添えるように、小学部の段階から授業やクラス生活を通して、指導を行っています。進路について学ぶ一つとして、「制作」の授業では大学農場に週1回は全員が行き、他に印刷・織物・木工・クラフトの中から一つ適正に合わせて選択しています。様々な媒体を利用しつつ、体力もつけながら、挨拶から報告・連絡・相談、コミュニケーションを円滑に行えるように授業の中でも取り組んでいます。就労実績としては食品関係、加工製造、清掃、リサイクル、運送、調理補助などです。また職業的自立心を高め、社会の一員として巣立っていくために、事業所などのご協力をいただき、職場で実習をおこなっています。



勤務経験者の先生方について

- ① 追跡調査は特にしていません。
- ② 大阪府、大阪市、堺市等との交流人事を行っています。大学や学校での情報把握となります。
- ③ 大学教授・准教授（大阪教育大学他、私大も含む）、大阪府立学校校長・教頭・首席、大阪市立学校校長・教頭・進路主事、堺市教育委員会指導主事他



本校の特色・魅力のある取組みについて

【ふようタイム】水曜の午後に全校縦割り3グループでの活動をしています。小学部から高等部の子ども達が協力し合って清掃活動や花壇への花植え、ふようまつりの練習（リレーや綱引き、応援合戦）や合同での作品作り（綿の植えから綿の収穫・作品作り、50周年記念制作）などを先輩が後輩に積極的に関わる機会にもなります。



【大学との連携】 本学の特別支援教育講座の先生方にご指導いただき授業研究に取り組んでいます。また他の講座の先生方にも応用行動分析や教室環境整備を活用した科学的な分析を取り入れて、授業づくりの基盤を整えることにもご協力いただいています。本学の学生の受け入れとして、観察・体験・専門実習の他に、介護等体験の学生を年間約 1,300 人、そして教職大学院の実習校にもなっています。昨年は創立50周年記念式典の第2部コンサートに、本学音楽科の大学院生にピアノ伴奏付き歌唱で花を添えていただきました。



【平野五校園】 大阪教育大学には池田・天王寺・平野の3地区がありますが、幼稚園と特別支援学校のあるのは平野地域のみで幼・小・中・高・支援の五校園での連携、交流を図っています。昨年度までの3年間の研究テーマは「ユニバーサルデザインにもとづいて『わかる力』『考える力』『使える力』を育む保育・授業づくり」で、本校については小学校や中学校と一年を通して計画的に交流及び共同学習を行いました。今年度は趣を変え、各校園の研究を学び合う機会にし、情報交換会の時間も設定し、「子ども理解」「ループリック評価」「アクティブラーニング」「ICTを活用した実践交流」「教科研究」の関心のあるテーマに参加し勉強し合うことになりました。

【今年度の研究】 研究主題を「Art & Science ～科学的根拠に基づいた魅力有る教育実践～」と題し、具体的には「授業実践の成果」「インクルーシブ教育の推進」「実習生の育成」という3つのテーマを用意し、希望に基づいたチーム構成で3年間の研究を進めています。本校の使命でもある「実習生の育成」をテーマにも取り組みます。





地域における本校の存在価値

- 【地域との交流】
- ・小学部は地域の保育所との交流を行っています。運動や作品作りなどの活動や昼食交流など、互いに刺激を受けながら楽しい時間を過ごしています。
 - ・本校の中学部と附属平野中学校とは交流及び共同学習を実施しています。その成果を地域の小学校で、子ども達の取組みを子ども達のことばで直接発表し、感じたことや考えたことなどを伝えていく取組みを計画しています。

【平野つくしんぼ教室】昨年度に通級教室を試験的に開設しました。今年度はその成果を踏まえて、年間を通じた地域支援事業を通級教室と相談支援として行う予定です。支援学校のもつ、障害についての知識や指導技術を支援学校近隣地域で生かす努力を行っています。具体的には、外部専門家の相談員を一名配置し、週1回月曜日又は火曜日に地域に開かれた相談支援事業を行っています。そして本校のコーディネーターが近隣の6つの小学校との連携をし、木曜日に電話での相談を受けたり、地域に出向いての支援を行ったりしています。

【地域との連携】 地域の自治体と連携し、安全・安心の学校づくりに貢献して頂いています。地震・津波の非常時の地域の避難場所として体育館と運動場を開放しています。また大阪市の備蓄倉庫もありますし、断水時にプールの水を飲料水とするための大型濾過機の設置も今夏予定しています。

【公開研修会】 本校の在籍教職員、旧教職員、大学本学の教授が協力し、地域に開かれた研修会を夏期休業中に2日間実施しています。最近の実績で言えば、「iPad活用講座」「ファシリテーションボールメソッドの基礎と実際」「チーム援助の進め方」「てんかんがある子どもへの支援」「ムーブメント教育・療法の理論と実績」「読み書き能力の発達及びそれを評価する具体的手法」などです。地域の幼保・小中高の先生方に来ていただき意見交換をする機会もあり、本校にとっても大切な研修会となっています。



附属学校としての本校の存在意義

本校は本学の学生が「4年間の積み上げ型教育実習」を体験する場となっています。専門的な知識や技能を備え、子どもたちの発達段階や特性に応じ、適切な指導をしていく教員養成には欠かせない実習の場となっています。連合教職大学院生の実習校の1つでもあります。

また、介護等体験として年間約650名の学生を2日間受け入れています。1日目は講義と見学実習とし、2日目には子ども達に寄り添う体験実習を行います。インクルーシブ教育構築のためにも障がいのある子ども達の理解は急務となっている中、本校では、講義（目標設定）・実践・振り返りに丁寧に取り組んでいます。2日間ですが、多くの学生が大切な意義を見出す機会となっています。

【本校のホームページ】 <http://www.fuzoku-se.oku.ed.jp>

【メールアドレス】 fuzoku-se@cc.osaka-kyoiku.ac.jp